

廃棄体検討 WG の実施状況について

日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部
埋設事業センター

令和元年度の廃棄体検討 WG 会合の開催状況は以下のとおり

第 13 回 WG 会合

① 日時：令和元年 7 月 30 日 13:30～15:00

② 場所：JAEA 東京事務所

③ 議事と概要

- 1) 原子力機構バックエンド対策監視チーム会合での検討状況について
- 2) ピット処分及びトレンチ処分に係る規則等の改正案について

- 原子力規制庁が設置した原子力機構バックエンド対策監視チーム会合での原子力機構の低レベル放射性廃棄物を対象とした合理的な処理処分対策の検討状況について説明を行った。具体的には、
 - ▶ トレンチ埋設施設の高度化を図ることによって、重要核種の選定と廃棄体確認の際の放射能評価の簡便化を図る検討を進めていること
 - ▶ 有害物及び可燃物を一定量含む廃棄物への対応方策の検討を進めていること

の規制庁との意見交換状況を説明した。

合理的な処理処分の検討の重要性は各社認識しているとの意見が出された。浅地中処分の重要核種であり、RI 廃棄物にも含まれる H-3 及び C-14 を含む廃棄物の処理方法について議論を行った。

- 7 月 18 日から意見公募が開始された第二種埋設事業規則等の改正案について意見交換を行った。大型有姿廃棄物を処分対象に含めることの明確化や、除外されているウラン廃棄物の規制規準の早期整備についての要望などを意見することについて共有した。

以 上